

しあわせ

NO 93 号

平成26年 3月

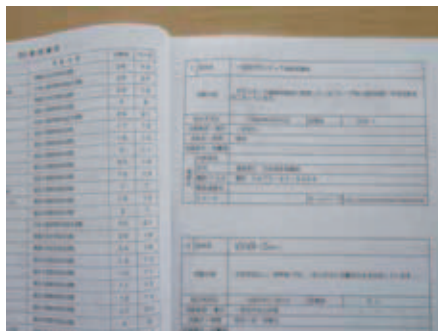


一宮ボっくんです。
みなさんよろしくね。

ボっくんといっしょに 楽しくボランティア

一宮町ボランティアセンターでは先般、ボランティアガイドブックのデザインを町民の皆さんから募集いたしました。その中から、一宮ボっくんをキャラクターとして起用し、ボランティアガイドブックを発行することとなりました。

このガイドブックは、一宮町で活動をしている様々なボランティア団体（NPO・まちづくり推進団体含む）の情報を町民の皆さんに紹介するとともに、ボランティア活動のきっかけとして参考にしていたために発行しました。ぜひご活用ください。



一宮町ボランティアセンターが設立して、間もなく2年が経とうとしています。

このセンターは、福祉ボランティア、NPO、まちづくり推進団体など、活動方法は違っても一宮町を良くしたいという

想いの元に活動しているそれぞれの団体が、情報交換したり情報共有をすることで、それぞれの持ち味を活かしながら、相乗効果によりみんなの力が最大限発揮できる場にしようという試みのもとオープンいたしました。

それと同時に、一宮町で活動している各団体に情報の登録を募り、町民のみなさんにボランティア活動を紹介する活動ガイドブックを作成いたしました。

また、社会福祉協議会2階をボランティアルームとして毎週火、木曜日を開放している他、印刷機を無料で使用（用紙は持込）することが出来ますので、お気軽にご利用下さい。これからも、キャラクターの一宮ボっくんと共に親しんでいただけるセンターづくりを目指して参ります。

一宮町では、様々な地域福祉活動が行われています。西部地区では、9区の1集会所を拠点に、地域全体での子育て活動、「ニコニコひろば」が開催されており、町内外から注目を集めています。

また、1月29日には白子町にて県社協主催の「コミュニティソーシャルワーカー育成研修」（地域福祉の担い手養成講座）が開催され、一宮町からも10名の方が参加し、地域福祉向上の実現に向けて知識・技術の取得に取り組みました。

地域福祉の 担い手養成講座

昨年12月2日に民生・児童委員を拝命しましたが、実活動は不安だらけでした。そういう中で「地域福祉の担い手養成講座」に参加しました。内容は「コミュニティソーシャルワークと地域の支え合い・助け合い」がテーマで、住んでいる地域の課題の抽出から解決



「コミュニティソーシャルワークとは…」

に向けた方策の検討を通して、地域福祉活動をいかに展開するかの方法についてでした。合わせて受講者が小グループに分かれ実問題について話し合う演習を行い、特に①生活の困りごと、望むことは何か②それに対して私達に出来ることは何か、を出し合い整理しまとめ皆の前で発表しました。本講義は単に教わるだけでなく、「自分の心を以って行動する」実践活動に繋がることから有意義であり是非、今後の活動に応用したいと思った次第です。

田中 登



「こんなときどうする?」

ニコニコひろば 白を囲んで みんなの輪

師走の日曜日、9区の1集会所では、早朝より薪を燃やす煙が登り恒例の餅つきが始まりました。

子どもたちが集まりペタンペタンつき始め、お手本をみながら杵の使い方、返し手の入れ方等、教えてもらい上手に出来上がりしました。



ペタンペタン



丸めるのってむずかしい～

参加者は77人、年齢は0歳から70歳代、地元には80年近く住んでいる方、引越して来たばかりの方、みんなが白を囲んでおしゃべりしながらお餅を食べ、輪になったひとときでした。準備から後片付けまで大勢の協力で餅つきが出来ました。「ニコニコひろば」を通して、大人と子どもがいっしょになって楽しい地域づくりが出来たらよいと思っています。

白石 房子

平成26年1月22日、船橋市民文化ホールにて、千葉県シニアカラオケ大会が行われ、一宮町つくも会の齋藤嘉明さんが出場されました。当日、会場にてご声援を送られた方にその様子を語って頂きました。

みんなの声援を受け熱唱

船橋市民文化ホールにて各市町村からの入賞者60名による競演が開催されました。

応援の方がバスを仕立てて多数入場し、大ホールは一杯でした。長生郡市の大会で入賞された齋藤嘉明さんの応援に私達3名でかけつけました。出演者は皆勝るとも劣らない人ばかりで、「が



熱唱「男のうそ」

んばれがんばれ一宮」を合言葉にと話し合い大声で発声したところ、同郡市内から多数の方々

の応援をいただき本当に感動致しました。
アトラクションでは90歳以上の高齢者による黒田節踊りや、習志野白寿会の皆さんによるお座敷ワルツの歌踊りで参加者を

郡市親睦の歌自慢



酔いしれて「アメリカ橋」

慰労してくださる場面もございました。最後は県老連による表彰式があり5名の方が受賞しました。歌は健康によいので心身共に美しく老いる事を目標に、人の暖かい御協力に感謝したよい思い出の一日となりました。

片岡 文字

北上健さん（千昌夫さんのマネージャー）兼歌手として活躍には、持ち歌「長持船」と美空ひばりさんの物まねを披露していただきました。
私は初めての応援参加でしたが、楽しい一日を過ごす事が出来ました。

小安 君枝

毎年恒例の長生郡市障害者福祉会芸能大会が、一宮館にて1月24日開催されました。

これは、親睦を深めるための大会です。各

市町村より、歌自慢7名・応援者7名で約100名弱の参加でした。

各々、自慢の歌を楽しく表現豊かに歌っていました。

又、応援者からは各福祉会代表の出演になると声援が飛びかかっていました。

アトラクションとして、



大合唱「365歩のマーチ」

いざという時のコミュニケーション作りを

雪の降る中、千葉県全体で39地区39名の参加者で開催されました。はじめにハイゼックスの作り方、おかゆ、おかか、塩、大豆等を入れて作りました。

又、玄米や小豆を煮た汁で作るとおいしいそうです。

次に、車椅子の移動と介助でした

が雪のため中止となりました。

最後は地域における防災訓練について、自助・自らの生命、身体、財産は自ら守る。共助・助け合いによって自分達の町を守る。向こう三軒両隣と言うように近所付き合いを大切に、いざというときにお互いを支え合う気持を地域に広げ、できることから一歩ずつ始めたいと思います。

小関 美知子



災害時に自ら協力できるように

平成25年12月25日、船橋市少年自然の家で、地区トレーニングセンター修了者の5・6年生児童を対象として、一校につき男女一名ずつ、定員40名で野外活動の一環として青少年赤十字スタディー・センターが開催されました。私達奉仕団も非常時のハイゼックスと、豚汁作り

の手伝いをしました。ハイゼックスは、専用の袋に米と水を入れて中の空気をしっかり抜き、輪ゴムで止めて専用の釜で煮たつてから30分、10分蒸らして出来上がりですが失敗も多少ありました。今回のようなスタディーがもっと多く実施されて、子供達も自ら災害時に協力出来るような体制作りが必要だと思いました。

内山 啓子



ハイゼックスと豚汁でお昼

～祝・結婚50周年～ おめでとうございます

1 区	森川平之庸様	茂子様
8区の1	笹生延利様	積子様
9区の1	飯塚均様	一枝様
10 区	齋藤勇一郎様	スミ子様
11 区	原田弘和様	恵美子様
12 区	中村勇一郎様	初枝様
14 区	小川成利様	ノリ子様
15 区	御園生勝重様	トヨ子様
17 区	諸岡啓延様	すみ子様
17 区	川原義之様	宏子様
宮原区	今井久雄様	玲子様
宮原区	石川恒夫様	洋子様
船頭給区	伊東和弘様	フヤ様
船頭給区	吉野一清様	トキ様
新地区	石井道明様	秀子様
新地区	神馬武徳様	由美子様
その他の皆様		4組

生活福祉資金貸付制度のご案内

低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。

本貸付制度は、千葉県社会福祉協議会を実施主体として、一宮町社会福祉協議会が窓口となって実施しています。それぞれの世帯の状況と必要に合わせた資金、たとえば、就職に必要な知識・技術等の習得や高校・大学等への就学、介護サービスを受けるための費用等の貸付を行います。

また、本貸付制度では、資金の貸し付けによる経済的な援助にあわせて、地域の民生委員が資金を借り受けた世帯の相談支援を行います。

平成25年度 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金実績報告

たくさんのまごころありがとうございました！！

赤い羽根共同募金 2,172,747円

歳末たすけあい募金 845,405円

●募金別内訳

(平成26年2月28日現在)

内 訳	件 数	金 額 (円)
戸 別 募 金	3,131	1,565,500
*個 人 募 金	2	8,190
学 校 募 金	5	53,168
イ ベ ン ト 募 金	1	3,173
職 域 募 金	2	24,716
*法 人 募 金	75	518,000
合 計	3,216	2,172,747

全額県共同募金会へ送金しました。

*赤い羽根個人寄付者芳名

立 石 和 美 様	5,000 円
小 関 久 子 様	3,190 円

*歳末個人寄付者芳名

小 関 正 則 様	50,000 円
立 石 和 美 様	3,000 円
匿 名 の 方	62,587 円

●募金別内訳

(平成26年2月28日現在)

内 訳	件 数	金 額 (円)
戸 別 募 金	3,161	632,200
職 域 募 金	1	13,868
*団 体 募 金	2	83,750
*個 人 募 金	3	115,587
合 計	3,167	845,405

●募金配分内訳

対 象 別	件 数	金 額 (円)
準要保護世帯	40	400,000
寝たきり障害者	6	30,000
障害者福祉会	1	20,000
地域福祉事業	6	75,000
独 居 老 人	63	63,000
歳末配食事業	62	68,936
県共募へ送金		188,469
合 計	178	845,405

*歳末団体寄付者芳名

一宮町福祉バザー実行委員会様	60,000 円
一宮町つくも会様	23,750 円

*赤い羽根法人寄付者芳名 (敬称略)

一宮町金融団	30,000 円	小山動物病院	5,000 円	（有）近藤園茶舗	3,000 円
鈴木医院・一宮クリニック	20,000 円	金澤輪業	5,000 円	（株）ホンダブリモ千葉南	3,000 円
片岡工業（株）	20,000 円	（有）大場モータース	5,000 円	小関食品（有）	3,000 円
伊勢化学工業（株）	20,000 円	小関工業（株）	5,000 円	（有）小畑運送店	3,000 円
秋場医院	20,000 円	やまき自動車整備工場	5,000 円	（有）小安モータース	3,000 円
清水医院	20,000 円	（有）東金屋	5,000 円	東葉電設（株）	3,000 円
町田歯科医院	20,000 円	（株）山長	5,000 円	（有）双立電気	3,000 円
市原歯科医院	20,000 円	（株）九十九里ドライブインセンター	5,000 円	（有）鷹田鉄工所	3,000 円
よねもと整形外科	20,000 円	魚平商店（有）	5,000 円	（有）ともえ	3,000 円
一宮館	10,000 円	一宮乗馬センター	5,000 円	海洋写真工房	3,000 円
植草歯科医院	10,000 円	古山接骨院	5,000 円	一宮製作所（株）	3,000 円
宇井歯科医院	10,000 円	桶庄トーヨー住器（株）	5,000 円	（有）三芳堂	3,000 円
（株）一宮カントリー倶楽部	10,000 円	（有）浅野製作所	5,000 円	内山住設（有）	3,000 円
一宮町商工会	10,000 円	（有）マツオ産業	5,000 円	（株）角八商店	3,000 円
（有）釜屋燃料店	10,000 円	ニシオ薬局	5,000 円	鶴泉酒店	3,000 円
藤島クリニック	10,000 円	セブンイレブン上総一宮店	5,000 円	白石管工事（株）	3,000 円
東日総業（株）	10,000 円	キングパレス一宮店	3,000 円	くるまやラーメン一宮店	2,000 円
ホテル一宮サイドアウトカ	10,000 円	タカラ鮮魚店	3,000 円	北村写真商会（有）	2,000 円
神代工業（株）	10,000 円	（株）秦組	3,000 円	丸ト商店	2,000 円
（株）長生ビル管理	10,000 円	（有）一宮鉄工所	3,000 円	（株）音羽屋	2,000 円
（有）久我薬局	10,000 円	高原商事（株）	3,000 円	（有）亀屋	1,000 円
長島医院	10,000 円	（株）千葉トーハツ商会	3,000 円	ミネシマ家具店（有）	1,000 円
（株）せんどう（株）	10,000 円	（株）松屋呉服店	3,000 円	大洋薬局一宮店	1,000 円
ダスキン千葉	10,000 円	斉藤整骨院	3,000 円	（株）メディカルファーマシーミズノ一宮店	1,000 円
岡田眼科医院	10,000 円	（有）荒留商店	3,000 円	たなか整骨院	1,000 円

編集後記

「一宮ボつくん“可愛いですね。」「生きた」と地域との絆が長生きにつながる」と鎌田實先生もおっしゃってます。笑顔と共に人を思いやる心を持って生活して居れば、身の廻りにも、その手を待っている人が居るのではないのでしょうか。先ずは、ご近所から“ボランティア”

近藤 美保子

寄付をありがとうございます

立石 和美様 ゴミ袋 20 袋
遠藤 好様 ジャージ・ズボン等

お詫びと訂正

第92号4面の記事（キクの花の寄付）の文章に誤りがありました。正しくは次の通りです。

誤 17区シルバークラブの皆様
正 一宮町つくも会の皆様

「千葉県茂原市台風26号災害義援金」にご協力ありがとうございます

一皆様からのあたたかいご協力に感謝いたします。一

千葉県共同募金会

一宮町職員厚生組合様 10,209 円
一宮町農林商工祭時募金 4,519 円

日本赤十字社千葉県支部

一宮町婦人会様 20,000 円
一宮町ボランティア連絡協議会様 10,000 円
一宮町農林商工祭時募金 2,189 円

合 計 46,917 円



この印刷物は、一宮町社会福祉協議会が印刷プロセスで使用するアルミ板をリユースする事でCO2排出量を21.2kg削減しました。



当CO2削減認証は株式会社日本スマートエナジー社がこの印刷システムを審査・確認して与えられたものです。